

日立空調システムは経営情報の開示を

(株)日立空調システムの業績
(出典：帝国データバンク企業情報)

(単位：百万円)

決算期	売上高	当期利益
2000/3	85,188	141
2001/3	108,029	782
2002/3	101,740	915

日立空調システムは2003年3月の業績が赤字になるという予測により、1月28日に労働組合に対し「拠点統廃合に関する申し入れ」がなされました。その内容は茨木工場の清水への集約、柏事業所の売却、生産合理化(日立清水テクノロジーとの抜本的再編)となっております。

また関連会社を含め、50歳以上を対象に早期退職優遇制度を実施しています。

日立製作所から分社化され、もうじき4年になるうとしています。この間の日立空調システムの財務状況は毎年改善され、黒字を確保してきました。2002年3月期の当期利益は9億円で、一人株主の日立製作所に対し2億5千2百万円の配当を行なっています。また内部留保は約120億円となつ

ており、一人当たり667万円となつていきます。このような財務状況からすれば、5%賃金カットをするような理由はありません。

今回の赤字についても、具体的な数字を検証して、現状を冷静に分析する必要があります。

日立空調システムの経営は、日立製作所の方針によって大きく左右されます。日立製作所は関連会社に対し、一定の利益を出すだけでは不十分で、資本コストを上回る高収益を上げなければ撤退すると言っています。

働く人の生活、関連会社の経営、地域経済に対して、社会的責任を果たすよう日立製作所に対しても要求していきましよう。

(株)日立空調システムの内部留保
(帝国データバンク企業情報より試算)

(単位：百万円)

主な内部留保金	2001/03	2002/03
任意積立金	5,003	5,003
当期末処分利益	1,471	1,914
資本準備金	94	94
利益準備金	367	410
退職給与引当金	4,049	4,528
合計	10,984	11,949

日立空調システム
と関連会社で働く
人のネットワーク



2003年2月

No.7

発行：オオアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL(FAX)
0543-65-0433

日立には 労働者・地域経済を守る 社会的責任がある

早期退職の

強要は違法です

早期退職優遇制度が日立空調システム、日立SEや日立STも含め、実施されています。年収の1.5倍の割増金は、昨年日立が実施した2.5倍に比較しても少なく、「これでは退職しても生活が大変だ」という声が多く聞かれます。基本的には本人希望ということになっていますが、一部では個人面談が行なわれています。退職の強要は違法ですので、辞めたくない人は、はっきり断りましょう。

茨木工場の 閉鎖は見直しを

茨木工場の閉鎖は、社員や家族、関連企業や地域経済に対しても大きな問題です。「茨木工場は黒字なのに、なぜ移転しなければならぬのか。」という声もあります。マンションを購入した人や、共稼ぎで相手が別の会社に勤めている人など、家族の生活が脅かされています。関連会社は仕事が続けられるかどうかの大問題です。赤字の額も示さずに、統合を決めるというのは経営の説明責任を放棄したものとなります。茨木工場の閉鎖は見直しをする必要があります。

